

# 平成29年度(第16回)佐世保市原子力艦原子力防災訓練

## 1 各訓練についての意見等

### ○屋内退避訓練

- ・ていねいに準備していただきありがとうございます。また、学校という特殊性を配慮して下さった時間設定に感謝いたします。次年度は外からの避難も考えたいと思います。
- ・重要な訓練に参加させて頂きありがとうございました。  
子供たちの年齢が低いこと、また、人数も多いこともあり様々な部分での影響が大きいことを考えると、とても、大切な訓練であると思います。

### ○情報伝達訓練

- ・毎年、ご担当の方が来校され詳しく説明して下さるので、戸惑うことなく実施できております。  
本年度も問題なく、無事に情報伝達訓練を終了することができました。ありがとうございました。

### ○避難誘導訓練

- ・避難車両においては、駐車場の確保をお願いできればと思います。
- ・日頃より訓練しておくことが、実際、原子力問題がおきた際に、手順よく防災、避難ができるのではないかと実感しました。

### ○除染用資機材設置運用訓練

- ・簡易除染及び除染所を設置している場所が、国道に面し、一般の市民が歩いている場所で実施するのか。
- ・防災訓練を実施する場合は、現実に起こりえることを前提に、実際に除染活動を実施する場所で行った方がより現実味を帯びている。  
除染所を設置したならば、モニタリング及び交通統制を実施した職員等をスクリーニング及びシャワー等で除染することからテントへの目隠しが必要。

### ○その他

- ・毎年、米海軍が不参加の中ですが、継続は力なりで今後も行っていただきたいと思います。参加機関は多いですが、規模は小さいので何年か1度はシナリオを変えて大規模に行っても良いのではないかと思います。  
その他、原発事故等での不確実な報道等でいろいろな情報が溢れていると思います。住民には適切な情報提供やもっと突っ込んだ講習等を必要と感じた。

## 2 次回訓練に向けて

### (1) 米軍の訓練参加について

- ・事故発生における迅速な情報提供が最も重要であり、平成28年7月に一部改訂された「原子力艦の原子力災害対策マニュアル」において、原子力艦の移動の選択肢を含む住民の安全確保のため「米国政府との安全確保に関する協議」が新しく追加されたので、事故発生時に原子力艦の移動が安全な方法と考えられるのでさらに参加要請を継続していく。

(2) 訓練実施エリアについてより広い範囲を対象にすべきとの指摘がある。

- ・原子力艦の原子力災害対策マニュアル検証に係る作業委員会で応急対応範囲の検証が行われ従来の範囲とされた。現時点で国が示す「応急対応範囲」の中で訓練実施内容の習熟を図ることが重要である。

また、空母が停泊する35錨地から半径3 kmの範囲についても今後、訓練区域、訓練内容についても検討していく。

(3) 訓練の意義について

- ・米軍はファクトシートの中で原子力艦の安全性を表明しているが、市としては想定外の事象も100%安全と言えないという立場で万が一の原子力災害に備え、防災機関や周辺住民が共同して訓練を実施することにより、連携強化及び原子力災害に対する理解と認識を今後も深めていく。

以 上